森の会ニュース⑩

MORINOKAI NEWS vol.10

2012年8月1日発行　編集･発行／森の仲間たち

I･N･D･E･X

●教員紹介 …… 2～4
●会員だより …… 4～5
●新役員の紹介、進路状況 …… 6
●ゼミ通信、会計報告 …… 7
●役員紹介 …… 8

平成24年度 森の会総会･懇親会開催!

●日　時　平成24年**11月10日(土)**　12時～15時（予定）
●場　所　岐阜シティ・タワー43
　　2Ｆ カフェレストラン　バンビーナ・バンビーノ
　　岐阜市橋本町２－52
●会　費　1,000円（在学生は500円）　当日受付にてお支払い下さい

今年度は、アクセスが便利なJR岐阜駅前で開催します。
懇親会で世代間を越えて盛り上がった後は、気の合う同世代の仲間で、２次会、３次会へとお出かけいただけます。この機会にぜひ、皆様お誘い合わせの上ご参加下さい。

同封のハガキまたはメールにてご返信下さい。締切９月18日(火)

ご出席・ご欠席に関わらず、同封のハガキ（切手不要）に必要事項をご記入の上、森の会宛にご返信下さい。なお、Eメールにてご返信いただいても結構です。
今回残念ながらご欠席の方も、是非とも皆様への近況報告をお寄せください。

岐阜シティ･タワー43　平成19年10月開業
生まれ変わった岐阜駅前

「子どもと一緒に参加したいな…」
「締め切り過ぎたけど参加してみたい!」等、
ご相談は何でも森の会事務局までお気軽に!!

森の会（岐阜大学地域科学部同窓会）
e-mail:mori2001@gifu-u.ac.jp

託児もあるよ!

昨年の様子

思いがけない再会が?

お子様の同席OK!

教員紹介

［卒業生との邂逅］　地域構造講座 ● 土岐邦彦（とき くにひこ）教授

本同窓会ニュース用に依頼されたこの原稿を、いま病室のベッドの上で書いている。この4年間で3回目の入院だ。以前の2回の入院は、まさに「かつぎ込まれた」という表現がぴったりの状態であったのだが、今回はいわゆる「早期発見によるその対応」というヤツで、きわめて平穏な入院である。予定は3泊4日だから、見舞いの客も来ないだろう。前2回は比較的長期の入院だったということで、ゼミの卒業生にも知れ渡ることになり、多くの卒業生が見舞いに来てくれた。邂逅の原因は最悪であったが、卒業生の「現在（いま）」に出会えたことはうれしいことであった。

卒業生との「うれしい邂逅」と言えば、やはり結婚式ということになるだろうか。実は今回の入院の前日も卒業生の結婚式に招かれている。スピーチもせよということだった。幸せ一杯の顔を肴においしい酒を呑むことは教員の冥利だと思っている。ましてや、ゼミ内外の卒業生に久しぶりに出会える機会でもある。スピーチそのものは重荷であるが、スピーチの内容を考えるために過去を思い出す作業自体は楽しいものである。

私のゼミは、障害をもつ子どもたちとのキャンプやスキーを毎年おこなっており、近年は障害者の演劇活動にも参加しており、結構活動的だ。卒論では一人ひとりが教育や福祉の現場に出向くことになっているから、そこでも学生と私が共有する時空間がある。研究室だけではない学外での諸活動は、毎年多様なドラマを産む。そのドラマを構成する一つひとつのエピソードを記憶の淵から拾い上げ、つなぎ合わせると、その卒業生の「過去の姿」が鮮明になる。そしてそれを「現在の姿」と比較できる結婚式は、卒業生の「人としての発達」を確信する機会だ。たまらなくうれしい邂逅だ。

近年は病気づいている私だが、卒業生と長く付きあうためにも、自分の身体をいとおしまなければと思う昨今である。

［細胞培養ができる銀行員？］　地域環境講座 ● 粕谷志郎（かすや しろう）教授

一期生を送り出して11年目、院生は9年目になりました。この間いろいろな卒論、修論を世に送り出してきました。中でもびっくりものは、一昨年、天皇陛下が岐阜へ来られた折、天皇様の記事の上段に「アユ寄生虫　激減」なる記事が某新聞に掲載されたことです。卒論から修論まで一貫して、彼女はアユが入荷されると、全部終了するまで、果てしなく顕微鏡でカウントしていました。今は医学部で働いています。また、愛知県まで出かけて、鉄鉱スラグ置き場の浸出水を調べて、びっくりするような量のホウ素や鉛が検出され、某新聞のトップを飾ったことがありました。彼女は卒業式に遅れてきて、後で学位記をこっそりもらっていました。「君は大物だよ。」と言った私の言葉を忘れないそうです。一緒に測定をしていた彼は、東北大院へ進み、震災に遭いましたが、その日のうちに車で山形まで逃げて、飛行機で帰ったそうです。これも大物です。

長良川の川底に溜まる環境ホルモンを調べた、当研究室の最高レベルの研究があります。河口堰との関係を特定したもので、国際的にも高い評価を得ています。彼は、癖のある難しい分析機械にしがみついていました。いまは某県の研究室でもっと高い機械を独り占めしています。他に使える者がいないとか。

細胞培養を行い、現在、銀行員をしている彼女は、時々研究室にやってきます。外回りでちょっと休憩なんてのもあれば、外貨投資を薦めにも来ます。円高が激しく、リターンはほとんどなくなりました。遺伝子によるユスリカの分類を行った彼女も銀行員です。この世界では先鞭をつけました。これらの研究が銀行の業務にどう結びつくかは、彼女たちが研究室で何を身につけていったかに解答があるようです。先日、偶然野麦峠で出会い、鎌ヶ峰登山をご一緒した男性の娘さんも地域科学部でした。京都の古い民家の調査をしたことが楽しい思い出だと父親に語っているそうです。彼女は現在、モデルをやっています。

［地域科学部の卒業生を通じた地域との連携］

地域政策講座 ● 富樫幸一（とがしこういち）教授

地域科学部も2001年3月に最初の卒業生を送り出してから、すでに10年以上が経っています。1～2期生の皆さんは30歳を越えていますし、それぞれの職場で中堅的な役どころとして活躍されていることと思います。

このところ市町村の職員になった皆さんと、地域科学部との連携を通じて地域活性化に取り組むことが多くなってきました。郡上市役所の松原恵美さん（1期生）とは昨年（2011年）11月の岐阜経済大・岐女短との三大学連携のオープンカレッジなどで、田中隆介君（2期生）とは羽島市の竹鼻で「NPO羽島の未来を考える会」との連携での地域学実習を行っているところです。大坪加奈さん（9期生）を通じた美濃加茂市と近藤真ゼミの研究会を介した繋がりから、今年は同市でのオープンカレッジとその三和地区（竹森・元学部長の出身地で、ホタルまつりでバッタリ）でのまちづくり協議会との連携などを行うことになっています。もちろん、浅井同窓会長とは「岐阜まち物語」や「長良川おんぱく」でご一緒にさせてもらっています。

大学の方にも、「地域振興論」（隔年）で今年は田中君に登場してもらい、国土交通省への出向の機会を通じた地域活性化の取り組みを講義してもらいます。卒業生へのメールなどを通じたアンケートでも、地域科学部で「幅広く学んだこと」や、「人間や社会、環境についての理解を深めたこと」が、仕事の中で生きているという声を聞いています。facebookにも「森の会」の同窓会のコーナーができたようですが、意外とゼミの卒業生が「友達」で出てくることが多いですし、活躍の様子はリアルタイムで伝わってきます。地域科学部の現役学生や卒業生を通して、地域の人づくり、地域づくりが進んでいることを本当に実感しています。

［幻想と矛盾に溢れる現代社会への探査］

地域構造講座 ● ジョン・G・ラッセル教授

先日、ある雑誌の表紙の顔を見てちょっと気になった。有名な人の顔だったが何かが変だと感じ、よく見直すとその顔にはシワやシミなどのいわゆる「欠点」が見当たらなかった。後で分かったことだが、この写真はコンピュターによって修正されたものだった。

私は文化人類学者として、ある社会的現象がその社会の価値観、信念をどのように反映しているかに関心があり、特にグローバル化が過激な現代に溢れている矛盾と曖昧さに注目している。例えば、高度な情報社会と言われている現代社会に於いて我々は様々な物事について情報を容易に入手することができる一方で、昨年、東日本大震災で露呈したように、大きな危機が発生した際流れる情報がどの程度信頼出来るのかその正確性をすぐに確認出来ない状況に置かれている。

技術の進歩と共に現実と非現実の境界がかなり曖昧になり、様々な矛盾が生まれている。冒頭で述べたように雑誌に出る人の顔や体がコンピュターによりシワ、ホクロ、シミなど個性を表す「欠点」と思われている部分が修正される一方、欧米や日本の人間型ロボットは開発者がその「欠点」を取入れ、人間そっくりな顔を持つロボットの製産を目指している。又、戦争をテーマとするゲームはCG技術を駆使して戦場をよりリアルに描写しているが、現実を伝えるべき任務を持つメデイアは、現在、世界各地に発生する戦争の無惨さを隠蔽している。

先端技術の導入と普及により人々の現実に対する認識が変わることは新しい現象ではない。ただ、現代のCG技術や情報管理は今までの時代と比べ現実と非現実の境界を見分けることがより難しくなって来たと言える。言い換えれば、非現実が我々の現実の一つになったと言えるかもしれない。その広がる技術やインターネットが生み出したサブカルチャーが、今後、世界の多様な文化にどのような影響や意識革命をもたらすかが文化人類学者である私にとって非常に興味深い課題である。

教員紹介

［ドイツ語の授業の紹介］

地域文化講座 ● アレクサンドラ･V･フラクシュタイン准教授

この22.5時間で何が学べますか？ドイツ語がぺらぺら話せるようになることはできません。そんな､あたりまえだと思っていますか・・・・・よかった。

何ができるかと言うと、皆さんが経験してこられた授業とはちょっと違う授業スタイルを体験することです。なぜなら、私は講義式の外国語授業は好きではないからです。私の授業では歌を聴いたりゲームをしたり、あるいは絵本を読んだり宝探しをしています。楽しみながら学ぶのが上達の秘訣です。ですから授業の中で皆さんにいっぱい楽しんでもらいたいと思います。

もちろん私自身も授業を楽しみたいです。毎週毎週同じことを何回も説明するのは、私にとっては全然面白くないですよ。皆さんももちろんつまらないと思います・・・・・。そんなわけで、わたしの授業では毎回、確認テストか宿題を必ず行っています。授業の中で一番ハードな部分です。そのかわりに学期末には大きな試験がありません。いいニュースでしょう。

皆さんに完璧なドイツ語をこんな短い時間で教えられませんが、新しい体験をするチャンスを提供することはできます。

言葉はそれぞれの民族の価値観を象徴しています。それぞれの人にとって、母語はその人の性格をも規定します。皆さんがドイツ語を勉強すれば、ドイツ語的な発想を身につけることもできるようになるのではないでしょうか。たとえば、日本語にはドイツ語に比べてこんな独特な言い方があるとか、逆にドイツ語にあるのに日本語には見出すことができない言葉があるとか、日本語をあらためて見直す機会にもなるでしょう。

新しい体験、楽しみ、それに2単位・・・・・いいことずくめでしょう！

会員だより

第2期生　上田（うえだ） 佳子（よしこ）

平成14年3月に第2期生として卒業した上田佳子です。卒業して10年という歳月はでこぼこ道の人生でした。今私は、三重県津市に住んでいます。ここは気候も穏やかで過ごし易く、食べ物も豊富で、特に松阪牛・伊勢海老等を堪能することができます。また、伊勢神宮、熊野古道、鈴鹿連峰と見所も沢山あります。

同期生とは親子ほど歳が離れているので、隠居する歳になっていますが、まだ現役で、社会福祉法人津市社会福祉事業団のふれあい会館で事務補助員として働いています。

しかし昨年は、人生が180度も変わる経験をしました。毎年健康診断を受けていますが、昨年3月の検査結果は便に血が混じっていたので、大腸の精密検査を受けました。結果はとても衝撃的なものでした。自分の目で大腸にできている癌の映像を見ることになったからです。それはとても辛くてとても残酷でした。その癌はかなりの大きさになっていたので、手術する必要がありました。医師からは、「横行結腸癌」という病名を告げられました。手術は昨年5月に行われ、手術時間は2時間半位でした。1ヶ月程度の入院をして、仕事に復帰しました。手術をした箇所は治っていますが、何時再発するかわかりません。退院後は、月1回通院して癌検査を受け、抗がん剤の薬を飲み続けています。今のところは何もなく1年が過ぎました。自分の身体の中に癌という病巣を抱え、先の人生が読めなくなっていますが、その分一日一日の大切さを知るようになりました。

今は仕事以外に人と関わりを持ちたくて、また悔いのない人生を過ごしたくて、「俳句」「中国語」「卓球」の習い事をしています。

以上、近況報告をさせて頂きましたが、諸先生方、在校生、卒業生の皆様、どうか健康であられますことをお祈りいたします。また､「森の会」の更なるご発展をお祈り申し上げます。

会員だより

第1期生　水谷（みずたに） 映美（えみ）（旧姓：山田）

皆様お久しぶりです。地域科学部第1期生の山田映美です。

今回、「森の会ニュース」に近況報告を、とお話をいただき、改めて数えてみたら…大学を卒業してから11年も経つのですね。外見は確実に年を重ねていますが、中身はというと…大して成長していない気がします。それでも、大学を卒業してから現在に至るまで、紆余曲折いろいろなことがありました。

卒業後は、上京し出版社に就職。28のときに結婚。その一年後、主人の転勤で大阪に引っ越すことになり、会社を退職。

ちょうど30になる年でいい転機だと思い、興味のあることは全部チャレンジしよう！と、まずは手に職をつけるべくリフレクソロジーの学校に通い資格を取得。その後受付嬢、社長秘書を経て、現在は専業主婦で一児の母やってます。

さらに来春頃には、海が見える場所に引っ越す可能性も出てきております。

大学時代に学んだメディア論、近代日本文学、憲法学、財政学などなど…今の生活に直結して役立っているか？と聞かれたら、yesとは言い切れないけれど、今日まで幾度となく直面してきた人生の岐路において、私なりに熟考し、ひとつひとつ選択をしてきたわけで、そこには地域科学部で学び経験してきたことが大きく影響していることは確かです。

そして、大学時代に出会った先生方、友人たちは、一生ものの宝です。最近改めてそう痛感します。

今後は、できればあと一人二人子どもを産み、自宅でリフレクソロジーのサロンを開くか、キッズカフェなんかを開けたらいいなぁと、ぼんやりですが目論見中。

数年後、またここで胸を張って近況報告ができますように！日々精進します。＾＾

第1期生　伊藤（いとう） 雅浩（まさひろ）

早いもので大学を卒業してから12年目に突入しました。

大学時代は高橋弦先生のもと、マクロ経済学について学びました。（副ゼミは近藤真先生でした。）

卒業後は地元の中津川市役所に就職しました。今年の4月から東北大震災以降注目を集める「防災」を担当する部署に異動しました。市役所の仕事の幅は広く、部署を異動することは転職をしたに等しい状態になってしまいます。僕の場合、今まで農業振興→医療保険→防災と3回ほど転職を繰り返したみたいな感じです。

その結果、4月の異動により、12年目の中堅職員が新入社員なみの扱いでコピー取り、電話番、その他雑用みたいな1週間を過ごし、無駄に無力感・徒労感を覚えたりしてしまったり。しかし、その雑用の中で着実に資料を見て、2週間目あたりからはそれなりに防災マンをできちゃったりするあたりがベテランの域に達しつつある働き盛りの34歳であったりします。

この数年に1回訪れる職場の異動なんですけども、悪い面ばかりではなく、良い面もあります。それは、仕事を続けるうちに惰性で働き続けたり、マンネリ化して新たに「やる気」を出しづらいときに強制的に「やる気」にさせられてしまう丁度良い機会となることです。スタートダッシュ重視型で飽き性の僕にはピッタリかなと最近思ったりします。

最後に、「森の会」、「地域科学部」の益々の発展と会員の皆様のご活躍を祈念して近況報告を締めくくりたいと思います。

新役員の紹介

第12期生　野村（のむら） 惇貴（じゅんき）（幹事）

こんにちは。はじめまして。この度、新しく森の会の役員に就任した野村惇貴です。

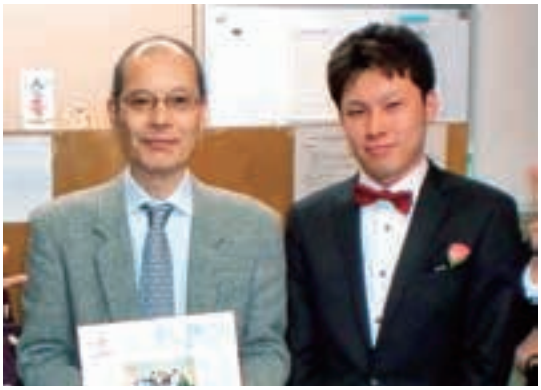
私はこの3月に地域科学部を卒業しましたが、現在も事務職員として岐阜大学にお世話になっています。5月から附属病院の総務課に配属され、今度は大学を支える立場として、岐阜大学に関わらせていただいています。

私にとってこの地域科学部で過ごした4年間は素敵な仲間に恵まれ、本当に充実した時間でした。仲間と築き上げた思い出は数えきれません。就職して離ればなれになりましたが、今でも時々集まり、あの頃と同じように笑い合えるこの仲間とのつながりを、これからも大切にしていきたいと思います。

ゼミでは土岐先生のもとで障害児の発達障害について学びました。4年になった頃から、障害を持つ若者による劇団「ドキドキわくわく」に週1回ボランティアとして参加し、今まで感じることのできなかったことを多く感じることができ、とてもいい経験ができました。このゼミで培ってきたものは、現在の私にとってプラスになっています。私の考え方が甘く、土岐先生にはいつも雷を落とされていました。当時は反抗し、衝突することもしばしばありましたが、今思うと私のことを気にかけ、本気で心配してくださった先生の優しさにはとても感謝しています。

私が充実した4年間を過ごすことができたのも、仲間や先生方の存在や、同窓会の皆さんの陰ながらのサポートがあったからだと思います。だからこそ、これからは地域科学部に少しでも恩返しできるように努めていきたいと思います。

まだまだ未熟者で何かとご迷惑をおかけするかと思いますが、今後ともご指導ご鞭撻のほどお願いいたします。



進路状況

学部進路

2012年3月卒業生進路状況（2012年5月1日現在：カッコ内は人数で1名の場合は省略）

公務員（29）
愛知県警察
愛知県庁
池田町役場
笠松町役場
岐阜県警察（2）
岐阜県庁
岐阜県市町村立小中学校事務
江南市役所
小牧市役所
滋賀県庁
名古屋市消防
名古屋市役所（3）
名古屋税関
名古屋地方裁判所
羽島市役所
福井県警察
藤枝市役所
防衛省
米原市役所
瑞穂市役所
南知多町役場
美濃加茂市役所
美濃市役所
本巣市役所
養老町役場
若狭町役場

建設・製造業（13）
アイリン
井村屋
カネハチ
サンショク
帝国繊維
トーエネック
日鉄東海鋼線
パナホーム
早川バルブ製作所
丸茂製紙
美濃工業
ヨツハシ
レシップホールディングス

金融・保険業（13）
大垣共立銀行
岡崎信用金庫
岐阜信用金庫
JA共済連
十六銀行
中京銀行
東京海上日動火災保険
名古屋銀行
日本生命保険（2）
のと共栄信用金庫
碧海信用金庫
八幡信用金庫

卸・小売業（10）
学書　栗田商会
ゲンキー
扇港電機
中部メイカン
東京シティ青果
トヨタカローラ愛豊
光通信　ヒマラヤ
平成調剤薬局

医療・福祉・教育業（9）
愛知県厚生農業協同組合連合会
岐阜県厚生農業協同組合連合会
国立大学法人岐阜大学
国立大学法人三重大学
社会福祉法人安祥会
社会福祉法人可茂会可茂学園
社会福祉法人むそう
ティエラコム　三和皮フ科

進学（5）
岐阜大学大学院地域科学研究科
皇學館大学大学院神道学専攻科
名古屋大学大学院国際言語文化研究科
名古屋大学大学院法学研究科実務法曹養成専攻
東名古屋病院附属リハビリテーション学院

運輸・情報・通信（6）
NTTマーケティングアクト
シーシーエヌ（2）
西濃運輸
全日本空輸
フューチャーイン

複合サービス業（3）
JAあいち知多
JA岐阜中央会（2）

不動産業（1）
サン・ストラッセ

その他（1）

サービス業（12）
愛宝館(奥飛騨温泉郷平湯温泉)
H.I.S
オンダ国際特許事務所
基太の庄
京王エージェンシー
シイエム・シイ
中広（2）
トーカイ
豊橋設計
日本ゼネラルフード
北陸電気保安協会

卒業者数……　109名
就職希望者数…　103名
就職者数……　97名
進学者数……　5名
進路未定者数……　7名
就職内定率…　94.17%
就職率……　88.99%

研究科進路

2012年3月修了生進路状況（2012年5月1日現在：カッコ内は人数で1名の場合は省略）

製造業（4）
株式会社NAC
株式会社東海化成工業所
株式会社横建
ヤマザキマザック株式会社

サービス業（1）
東海建設業協同組合

製造業（4）
岐阜県国民健康保険団体連合会
社会福祉法人美谷会児童養護施設美谷学園

修了生数……　13名
就職希望者数……　8名
就職者数……　7名

ゼミ通信-②

長谷川セミナー

第1期生

眞鍋（まなべ） 陽子（ようこ）（旧姓：牛田）

こんにちは。1期生で、長谷川ゼミに所属していました眞鍋陽子です。

私は、長谷川ゼミで国際的な環境規格であるISO14001について学びました。

長谷川先生が定年で退官されてから、早一年と数ヶ月が過ぎました。先生は、現在も岐阜大学にてISO14001認証取得に関する仕事をされています。

先生が退官される折、三井先生が中心となって、長谷川先生の退官を祝う会を開いてくださいました。ゼミ生が多く集まる、和気あいあいとした楽しい会でした。

その中で出席者全員が先生との思い出などを話すコーナーがあったのですが、ほとんどの人が、ゼミの途中で先生が淹れてくださる紅茶など飲み物について語っていました。

かくいう私も、その一人です。

先生の淹れてくださるお茶が美味しくて忘れられないのです。同じ茶葉を使って自分で淹れたこともあったのですが、何かが違っていまいち美味しくないものとなってしまいました。

先生は「本当に良いものを知ってほしい」という思いがあってのことだったと、その場でおっしゃっていました。

有り難いことだと思います。長谷川先生、本当にお世話になりました。

再び先生やゼミ生の方々に会える、そんなご縁に恵まれたら幸せです。

平成23年度会計報告

自　平成23年4月1日　　至　平成24年3月31日

（単位：円）

●収 入 の 部

項　　目	決算額
会　　費（10,000円×96名）	960,000
総会会費（1,000円×24名）	24,000
利　　息	450
当 期 収 入 合 計	984,450
前 年 度 繰 越 金	9,883,823
収 入 合 計	10,868,273

●支 出 の 部

項　　目	決算額
事業費	
・知の森印刷・発送	95,025
・森の会ニュース印刷	259,577
・卒業を祝う会援助金	100,000
・その他（大学フェア賛助金（昨年より3名増））	64,020
通信費	
・郵便代（ニュース発送料、料金後納分）	111,777
事務費	
・事務人件費	309,870
・事務用品費（角2封筒他事務用品）	58,171
運営費	
・会議費（岐阜大学創立記念日行事会費）	3,000
・交通費	78,360
・諸経費	14,490
総会費	
・講師謝礼（総会ミニ講座）	11,111
・懇親会経費	86,489
予備費（800万円定期預金）	8,000,000
当期支出合計	1,191,890
当期予備費合計	8,000,000
支 出 合 計	9,191,890

項　　目	収入の部	支出の部	差引計
次年度繰越金	10,868,273	9,191,890	1,676,383

●資産保管状況

項　　目	現在高
現　　金	0
十六銀行	
普通預金	1,676,383
定期預金	8,000,000
合　　計	9,676,383

帳簿及び証拠書類を監査した結果，上記のとおり相違ありません。

平成24年5月31日

監　査　祖父江 利佳　印

監　査　伊藤 健人　印

『卒業・修了を祝う会』に行ってきました　平成24年3月25日（日）開催

卒業を祝う会に同窓会役員として初めて出席させていただきました。思いのほかたくさんのみなさんが出席しておられ、盛大に挙行されている様子を拝見しました。教職員や保護者のみなさんのお力添えと、卒業生のみなさんのまとまりのよさを拝見し、大変あたたかい気持ちになりました。

先生方がはなむけの言葉をおっしゃられたときの、ある先生のお言葉が心に残りました。「上役の体面を傷つけた報いはずっとついてまわる」というような内容だったと思います。なにか身につまされるような思いがしました。一方、自分が卒業するときにその言葉を聴いていたらどう感じていただろうかと思いました。おそらく、鼻で笑っていたかもしれません（失礼）。卒業して10年ほどたって、当時は鼻で笑っていたであろう言葉が身につまされるものとして聞こえたというわけです。

誤解を恐れず思い切って、これを「成長」といってみましょう。（ぼくの場合はいつも同じ結論なのですが）10年ほどして卒業生のみなさんが「成長」されたとき、同窓会としてどのようなお手伝いができるのかを改めて考えながら楽しいひとときを過ごさせていただきました。

森の会　幹事　中山（なかやま）　智隆（ともたか）

平成24年度 森の会役員

会　長／浅井　彰子①
副会長／淺野　善信①　石黒　好美①　都築　尚子①
幹事長／加地　和歌子①
幹　事／眞鍋　陽子①　伊藤　雅浩①　中山　智隆③　笠原　正博⑩
藤井　敬子⑪　吉村　純里⑪　野村　惇貴⑫
会　計／荒瀬　修三③　伊藤　悠貴④
監　査／伊藤　健人③　祖父江　利佳①
（氏名の後の○の数字は、期生を表します　①…第1期生）

森の会 会員数 1,473名
（平成24年4月1日現在）

森の会の皆さま、いかがお過ごしでいらっしゃいますか。

3月25日に大学12期ご卒業、大学院10期ご修了の方たちをお迎えして、森の会は総勢1,473人の同窓会に成長いたしました。

年に一度の総会・懇親会が活動のメインですが、多くの同窓生にご参加いただきたいと、役員一同知恵を出し合っております。今年度はお越しいただきやすいように、岐阜大学がサテライトキャンパスをオープンさせるJR岐阜駅前に会場を設定いたしました。学際的な地域科学部らしく、同窓生の皆さんの職種もさまざまですので、同じ母校をもつ人たちの「異業種交流会」のような楽しさもあります。ぜひ、ご出席いただき、交流を深めましょう。

また、Facebookに「岐阜大学地域科学部同窓会森の会」のページを立ち上げました。近況報告や活動紹介の気軽な場として活用いただけたらと願っております。こちらにもどんどんご参加いただき、お仲間を増やしていきましょう。

それでは、秋の総会・懇親会でお目にかかれますことを楽しみにいたしております。

森の会 会長　浅井（あさい）　彰子（あきこ）

最後に、森の会ニュースでは、みなさまからの近況報告、ご意見・ご感想を募集しております。
メールまたは郵送にて下記宛先までお送りください。

連絡先
森の会（岐阜大学地域科学部同窓会）
〒501-1193
岐阜市柳戸1番1 岐阜大学地域科学部内
e-mail:mori2001@gifu-u.ac.jp

森の会アドレスに簡単にアクセスできます